

シラバス

科目名	原価計算	単位数	4単位	学年・学科	2 学年 会計 科	必修	
教科書名	教科書番号（出版社） 教科書名 7 2 0 （実教出版） 原価計算 新訂版			副教材名	最新段階式簿記検定問題集 全商1級原価計算（実教出版）		
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。(1)原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2)原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。(3)企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
学習内容と進め方	講義形式にて授業を行う。						
学習の留意点	製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につける努力をすること。						
月	単 元	予定 時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）
				1	2	3	
4	第1編 原価計算の基礎	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・工業簿記と原価計算の関係 ・原価の意味（製造原価・総原価） ・原価要素の性格とその分類 ・原価計算表の役割 ・原価計算の四つの目的 ・工業簿記における勘定記入 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。 ・原価計算の目的について理解し、どのような場面で活用されるかについて思考判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 ・工業簿記における勘定記入の特徴を理解し、一連の流れを記帳することができる。
5 6 7	第2編 原価の費目別計算	4 0	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費の記帳方法 ・予定価格法 ・労務費の記帳方法 ・予定賃率による消費賃金計算 ・賃金以外の労務費の種類 ・経費の消費高の計算と記帳方法 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費の分類とその内容を理解している。 ・予定価格により消費高を計算することの意義について思考し、予定価格を用いた二通りの記帳ができる。 ・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
8 9 1 0	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	4 0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別原価計算のしくみ ・原価計算表の記入方法 ・製造間接費の配賦について ・製造間接費の差異分析 ・仕損品・作業くずの処理 ・部門別個別原価計算の手続き ・部門費配分表、部門費振替票 ・製造部門費予定費配賦表 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別原価計算のしくみを理解し、原価計算表に記入ができる。 ・実際配賦の欠点を説明でき、予定配賦による記帳を行える。 ・個別原価計算の記帳方法について関心を持ち、意欲的に記帳に取り組むことができる。 ・仕損品、作業くずの処理が理解できている。
1 1			<ul style="list-style-type: none"> ・総合原価計算 ・単純総合原価計算表 ・等級別総合原価計算 ・組別総合原価計算 ・工程別総合原価計算表 ・半製品の意味と記帳方法 ・減損の意味と処理方法 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・各総合原価計算のしくみを理解し、原価計算表を作成できる。 ・個別原価計算と総合原価計算の違いを説明することができる。 ・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
1 2	第4編 製品の完成・販売と決算	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・副産物・作業くず・仕損品 ・製品の完成と販売 ・月次決算と年次決算 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法について理解し、月末仕掛品原価の計算ができる。 ・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法が理解できている。 ・財務諸表の特色を理解し、製造原価報告書の作成ができる。 ・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ・本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えている。
1 2 3	第5編 標準原価計算の基礎 第6編 直接原価計算の基礎	2 0 2 0	<ul style="list-style-type: none"> ・製造原価報告書の作成 ・工場会計の独立と記帳方法 ・標準原価計算 ・直接原価計算 ・CVP分析や損益分岐図表 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・原価管理について、意欲的に取り組む姿勢が見られたか。 ・CVP分析や損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係が理解できている。 ・損益分岐点を求めることができる。
評価方法	下記のとおり						
評価の観点	観点		趣旨				
	1. 知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。 ・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、原価計算から得られる情報を的確に処理することができる。 				
	2. 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> ・各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。 				
	3. 主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 				
評価基準	1. 知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> A 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 B 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指し取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 C 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持たず、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組まない。 				
	2. 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> A 各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。 B 各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、な基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけているか。 C 各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、表現する能力を身につけていない。 				
	3. 主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> A 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 B 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指し取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 C 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持たず、その知識と技術の習得を目指し取り組まない。 				